



公益社団法人 日本体育協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会報

第79号

令和元年8月1日

発行人
茨城県スポーツ指導者協議会
会長 照沼 一美
事務局 〒306-0204
古河市下大野 1463-4
事務局長 鈴木 義夫
TEL・FAX 0280-92-4555
会員数 1,380名 (R1.8.1現在)



総会 (平成31年4月21日 (日) 水戸市・内原市民センター)

公益社団法人 日本体育協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目次

会長あいさつ	2
顧問あいさつ	2
研修委員長あいさつ	2
総務委員長あいさつ	3
広報委員長あいさつ	3
茨城県スポーツ指導者協議会功労賞受賞者あいさつ	4
平成30年度収支決算報告書	5
平成31年度(令和元年度)収支予算書	5
平成31年度(令和元年度)本協議会事業計画書	6
支部だより	7~9
平成31年~令和2年度本協議会役員名簿	10

会長ごあいさつ



会長
照沼 一美

スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のうえ、ご活躍のこととお慶びを申し上げます。

平成三十一年度事業実施に当たり、会員の皆様と伴に本協議会が発展されますよう、願いを込めごあいさつ申し上げます。

平成三十一年四月二十一日の総会において、報告事項を承認いただき、決議事項は新年度の事業計画、収支予算等を審議いただき、賛成多数でご承認を賜りました。

このことにより、茨城県スポーツ指導者協議会は県内六支部が一体となった運営に向けスタートいたしました。茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、県内各支部から発信されます研修会等の最新情報を取得され、積極的に研鑽されますようご期待いたしております。あわせてそれぞれの支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。

公認の有資格者であるスポーツ等の指導者は、次元の高いより良い指導者として指導方法を研鑽さ

れ、理想の指導者への道を歩まれますようご期待申し上げます。

本年、平成三十一年に開催実施されます第四十七回国民体育大会茨城大会が、県内各市町村行政組織が一体となって各種目の開催に取り組みされております。

我々有資格者はそれらの取り組みに対し、どの様な些細な事柄でも、真摯に支援出来る体制にしたいものです。会員皆様の茨城国体への積極的なご支援のうえ、それぞれの会場におけるご協力にご期待いたします。

末尾であります。公益財団法人日本スポーツ協会の発信する最新情報に注目され、新指導体制に対し万全の対応をされますようご期待申し上げます。

顧問就任のごあいさつ



小美玉市
加藤 敏弘

今年はいきいき茨城ゆめ国体

「いきいき茨城ゆめ大会」来年は「東京二〇二〇オリンピック」が「東京二〇二〇パラリンピック」が開催されます。そこで繰り広げられるトップアスリートたちの躍動する姿は、勝ち負けを超えて多くの人々に感動を与えてくれるに違い

ありません。なぜなら彼らの躍動は、数多くの苦難を乗り越えようとして、代表に選出されなかったアスリートたちの努力の結晶でもあるからです。そして、それは同時にスポーツに携わるすべての子ども達を、心の面からも体の面からも支え続けてきたスポーツ指導者の献身的な日々の活動の集大成であるからです。

スポーツは年齢、障がい、人種を超えて誰もが一緒に楽しむことができます。辛いことや嫌なことがあったとき、家の中で、一人ではふさが込んでしまう人がたくさんいます。そんな時、テレビやインターネットを通じてでもよいのでアスリートたちの躍動する姿を垣間見て欲しいと願っています。そして、時間をかけてゆっくりと外にでて、少しずつ仲間を増やし、何でもよいので一歩を踏み出して欲しいと願っています。スポーツ指導者には、スポーツに携わっている人ばかりではなく、そうした小さな勇気を拾い上げて欲しいと願っています。

スポーツ指導者を取り巻く状況は、目まぐるしく変化してまいります。日本スポーツ協会公認スポーツ指導者ライセンス制度も大幅に改訂されました。多様化する価値観の中で、小さな声を拾い集め、しなやかに変化に対応することの

指導者の養成にこれからも尽力したいと思えます。

今年度から茨城県スポーツ指導者協議会の顧問をお引き受けさせていただきますことになりました。少しでもみなさまにお役に立ちたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

研修委員長ごあいさつ



委員長
青柳 薫光

元号も令和に変わり、茨城国体の年となり開催日まで残り二か月を切って、県内の各市町村も国体成功に向け最後の確認に入ったところででしょうか。

茨城県スポーツ指導者協議会の会員の皆様も、それぞれのスポーツの指導者としてご活躍されている事と思えます。

茨城県スポーツ指導者協議会の研修委員会は、昨年まで全県研修会と県内の二地区での合計年三回の研修会を開催してきました。しかし、日程・開催場所によって参加が難しいとの声があり、研修委員会として検討を重ねてきた結果現在水戸市で開催しております全県研修会は、水戸支部と中央支部が一年おき交替で担当しております

すが、数年前までは全県研修会は研修会委員が担当しておりましたので、本来の姿に戻すべきとの提案があり、研修委員会が今年から全県研修会を担当し地区研修を水戸地区と中央地区を含め一地区増やし、年四回開催として多くの会員の皆様に参加できることを望んでおります。

なお、今年度から研修委員会が担当する全県研修会は研修委員だけでは開催出来ないため、各支部の役員の方々にご協力をいただき開催を計画いたしました。

研修委員会として、資格取得者が今後の指導において一助となります。また茨城県スポーツ指導者協議会の会員の皆様にお願ひがあります。現在スポーツ指導者の皆さんと活動を一緒にされている方やお知り合いの資格をお持ちの方の中で、まだ非会員の方におりましたら是非会員入会のお声かけをお願いいたします。

総務委員長(ごあいさつ)



委員長
渡辺 早苗

総務委員長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今年度の役員改選におきまして前任者小堀委員長の後任として理事会の推薦を頂きましたこと、大変光栄であります。

本協議会に参加から四年たらずの私が、皆様の期待に添える様な事が出来るか不安ではありますが多くの諸先輩方々のご協力を頂きながら、一步一步前進し、与えられた任期を全うしていきたいと思ます。宜しくお願い致します。

さて、元号も平成から令和に、そして、今年には四十五年ぶりの国体「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。正式競技から、デモンストレーション競技迄、様々な競技を通して多くのすばらしさをぜひ体験して頂きたいと思ひます。

近年、私達のゲートボール連合会では、会員減少に歯止めがかからない状況で、発足当時は、県登録者数が、一万八千人強であったが、現在は、千百人と減少しております。

スポーツ指導者も百人前後おりましたが、現在二十数人が登録しているような状況であります。打開策として、高齢者中心の当連合会では、学校の部活などを通して、色々な角度から講じておりますが、いまだ見出すことはできておりません。

ある時、一年未満くらいの会員に話しを聞く機会がありました。

「高齢者の遊びと思つていましたが、思つていた以上に難しく、奥が深く面白い」もつと若いうちを始めればよかった」との声も聞きました。

この競技は、子供から高齢の方まで幅広く行われており、全国大会も世代交流として、ジュニア・高校生・ミドル・シニア選手権等が行われております。

今回の国体は、行方市で公開競技として八月三十一日、九月一日の予定で行われます。この機会にぜひご覧ください。

広報委員長(ごあいさつ)



委員長
君和田 治也

昨今、バスケットのBリーグの盛り上がりや、卓球の盛り上がりなど何か凄いなと思ひながらスポーツ観戦をしています。

その他、陸上・水泳など選手の入場時に観客の皆様に見ていただく工夫をしています。

また、フェンシング競技も見せる工夫を実行しています。もちろん、サッカーリーグやプロ野球のファンへの対応や盛り上げ方についても常に、工夫をしていると感じています。

昔からのスポーツはただ競技を自己満足だけでやっていたものが、これからのスポーツは勝ち抜き力と、スポーツを見ていただけるように工夫をしていかないと、そのスポーツ競技は発展していかないと思っています。

これからの時代は、見て楽しいものにするためにも、広報や企画をしていかなければならないと思つています。

また、新たな企画や広報を行うためには、予算が必要になってきます。このような会報にも、スポーツ協賛していただくスポンサー広告でも入れる事が出来れば良いのではないかと思っています。

今年はいきいき茨城ゆめ国体(九月二十八日～十月八日)そして、全国障害者スポーツ大会(十月十二日～十四日)があります。「チームいばらき」を皆で応援していきましょう。

スポーツ指導者の皆さん、スポーツを見に来てくれる方を増やせるように頑張りましょう。

会員入会協力への

おねがい

会員の皆様、有資格者のお仲間、会員入会をお勧めいただける様、ご協力をお願いいたします。



茨城県スポーツ指導者協議会
スポーツ指導者功労賞

受賞者あいさつ



東海村
木村 和美

平成三十一年度茨城県スポーツ指導者協議会におきまして、功労賞を賜り、ご推薦を頂きました中央支部及び関係各位の皆様にお礼を申し上げます。

茨城県笠松スポーツ学校中級テニス教室の指導員補助として、任務に当たりました折に、先輩の指導員の姿に尊敬の念を抱き、恐れ多くも自分も指導員になりたいと思ひ、僅かな準備期間でしたが、人生で一番勉強した事を思い出します。

平成七年に、日本テニス協会公認指導員の資格を取得し、次年度には、日本体育協会スポーツ指導員の資格を取得いたしました。

茨城県笠松スポーツ学校中級テニス教室を、十二年間、同じくスポーツ学校ナイターテニス教室を三年間、先輩方の背中を夢中で追いかけてながら、また自分自身の成長を願ひながら、テニスコートで走り回っていました。

そこでのご縁があり、日立製作

所健康保険組合日立地区のテニス教室を、五年間担当しました。スローガンは、「病氣予防」のスポーツという事で、楽しく明るく指導しました。

笠松スポーツ学校の卒業生達は自主グループを作り、日立大田区日立区、東海村と逞しく育つてくれました。笠松スポーツクラブ連合会や日本女子連盟テニス大会等の試合で、会える事が唯一の楽しみです。

私は、テニスを通じて、スポーツの楽しさ、人を思いやる気持ち、向上心等を学ばせて頂きました。

今後とも、諸先輩方のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



高萩市
八百 優

この度、平成三十一年度総会においてスポーツ指導者功労賞を賜りまして誠に有難うございます。

ご推薦を頂きました茨城県スポーツ指導者協議会および県北支部の皆様のご尽力によるものと感謝申し上げます。

顧みますと私がスポーツ少年団に関わったのは、同じ道場で子供たちと稽古したことから自然に指導するようになりました。自分の経験からの指導で不安を感じ、さ

らに自分の力量向上のために「認定員」、「剣道初級社会体育指導員」、「公認スポーツ指導員」の資格を取得いたしました。

このごろ、学校運動部を巡る諸問題として「教員の部活動など多忙」や「顧問が競技経験がなく指導困難」の解決への一助としてスポーツ指導者の専門家と学校を結びつける「公認スポーツマッチング」が三月八日よりスタートしています。また、四月一日より公認スポーツ指導者制度が改定施行されるその充実が図られております。

これらから「総合型地域スポーツクラブ」や「地域学校協力活動」などを、意欲が続く限り自らの役割を果たす機会を、広げていきたいと思ひます。

そのため学び直しは、大事なステップと思ひます。そのためにも「クラブマネジャー」資格は、スポーツ指導者に欠かせない取り組みと思っております。

今後皆様方のご指導をお願い申し上げます。



日立市
米川 優

この度は平成三十一年度茨城県スポーツ指導者協議会功労賞を賜りまして、大変名譽の事と感謝申し上げます。また、推薦を戴きました県北支部及び関係各位の皆様

や活動を共にしてきた方々のご指導のおかげと感謝申し上げます。

私は、中学時代はバスケットボールを、高校から社会人までは陸上競技（長距離）を続けて来ました。引退後は、しばらくスポーツから遠ざかっていましたが、50歳を過ぎて何か地域に貢献できないかという思いと子ども達に陸上競技を教えたいとの思いから仲間

に誘われ少年団で指導を始めました。自分の経験だけではダメだとジュニアスポーツ指導員、陸上競技指導者の資格を取り、新しい指導法を学ぶために研修会などにも積極的に参加してきました。

また、少年団や地域クラブでお手伝いをする傍ら日立市の陸上競技協会に所属し競技会の運営や子ども達がスポーツを楽しく出来る環境作りに携わってきました。

特に今年は茨城県体が開催され、来年はいよいよ東京オリンピックが開催されることもありスポーツに関心を持ってもらう良い機会と考えます。

少子高齢化が進む中、この機会を生かして生涯スポーツとして子ども達から高齢者まで、地域の中で楽しくスポーツが出来る環境作りとお手伝いを仲間と一緒に進めていければと思ひます。

今後ともご指導を賜りますようよろしくお願ひ致します。

平成 30 年度 収支決算報告書 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

収入の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 比較増減, 備考. Rows include 1. 会費, 2. 助成金, 3. 繰越金, 4. 雑収入, and a total row.

支出の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 比較増減, 備考. Rows include 1. 会議費, 2. 事務費, 3. 印刷費, 4. 支部活動費, 5. 負担金, 6. 雑費, 7. 予備費, and a total row.

収入合計 1,863,093 円
支出合計 1,537,474 円
差引残金 325,619 円

※上記のとおりご報告いたします。
なお、差引き残金は平成 31 年度本協議会収支予算書に繰り越しいたします。

平成 31 年度 (令和元年度) 収支予算書 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

収入の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度決算額, 比較増減, 備考. Rows include 1. 会費, 2. 助成金, 3. 繰越金, 4. 雑収入, and a total row.

支出の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度決算額, 比較増減, 備考. Rows include 1. 会議費, 2. 事務費, 3. 印刷費, 4. 支部活動費, 5. 負担金, 6. 雑費, 7. 予備費, and a total row.

収入合計 1,740,000 円
支出合計 1,740,000 円
差引残金 0 円

※上記のとおりご提案いたします。

平成 31 年度（令和元年度）本協議会事業計画書

1、方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携に努めて、指導者として資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者が本協議会に会員入会の促進を積極的に推進する。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2、目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
 - ①本協議会の組織体制を図り、支部組織の充実に努める。
 - ②市町村および競技団体との連携・協調に努める。
 - ③有資格者の会員入会（新規入会及び更新入会）の促進を積極的に推進する。
- 2) 更新研修会（全県研修・地区研修及びライブオンセミナー）を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 公益財団法人茨城県体育協会および市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。
- 6) 関東ブロックスポーツ指導者協議会の情報交換と連携協力する。

3、事業

- 1) 令和元年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力
 - ①令和元年度茨城県スポーツ指導者研修会・全県研修
 - (1)期 日 令和元年8月4日(日) 午前9時30分受付
10時開会～午後2時45分閉会
 - (2)会 場 水戸市・ケーズデンキスタジアム水戸
 - (3)参 加 料 会員1,000円・非会員2,000円
 - (4)参加定員 180名
 - (5)主 管 研修委員会
 - (6)運営委員 25名(本部役員・研修委員会委員・各支部役員)及び茨城県体育協会2名
 - ②令和元年度茨城県スポーツ指導者研修会・県西地区研修
 - (1)期 日 令和元年11月10日(日) 午前9時30分
受付・10時開会～午後2時45分閉会
 - (2)会 場 下妻市・千代川公民館
 - (3)参 加 料 会員1,000円・非会員2,000円
 - (4)参加定員 150名
 - (5)主 管 県西支部
 - (6)運営委員 20名(本部役員・県西支部役員)及び茨城県体育協会2名
 - ③令和元年度茨城県スポーツ指導者研修会・中央地区研修
 - (1)期 日 令和元年12月22日(日) 午前9時30分
受付・10時開会～午後2時45分閉会
 - (2)会 場 ひたちなか市・笠松運動公園陸上競技場会議室
 - (3)参 加 料 会員1,000円・非会員2,000円
 - (4)参加定員 120名
 - (5)主 管 中央支部
 - (6)運営委員 20名(本部役員・中央支部役員)及び茨城県体育協会2名
 - ④令和元年度茨城県スポーツ指導者研修会・鹿行地区研修
 - (1)期 日 令和元年1月26日(日) 午後12時
30分受付・1時開会～午後5時閉会
 - (2)会 場 行方市・北浦公民館
 - (3)参 加 料 会員1,000円・非会員2,000円
 - (4)参加定員 120名
 - (5)主 管 鹿行支部
 - (6)運営委員 20名(本部役員・鹿行支部役員)及び茨城県体育協会2名
 - ⑤令和元年度公益財団法人日本スポーツ協会ライブオンセミナー
 - (1)期 日 令和元年 月 日()・ 日()・ 日()
日() 3日間・午後7時～9時
 - (2)会 場 水戸市・茨城県生涯学習センター二階会議室
予定
 - (3)参 加 料 ¥5,400円(日本スポーツ協会指定口座に
振込み)
 - (4)参加申込先 公益財団法人日本スポーツ協会
 - (5)参加定員 50名
 - (6)主 催 公益財団法人日本スポーツ協会
 - (7)主 管 公益財団法人茨城県体育協会・茨城県スポーツ
指導者協議会
 - (8)運営委員 若干名(茨城県体育協会職員・本協議会役員)
- 2) 令和元年度本協議会会報発行
 - ①会報第79号発行
 - (1)ページ数 8～10ページ予定
 - (2)依頼日 令和元年5月中旬予定
 - (3)依頼先 会長・茨城県体育協会・顧問・専門委員長・本
協議会受賞者
事業計画書・収支予算書・支部だより・みんな
の広場・本協議会役員名簿
 - (4)発行日 令和元年8月1日予定
 - (5)発行先 6支部会員・県外会員及び新規入会会員
 - (6)発行数 1,600部予定
 - ②会報第80号発行
 - (1)ページ数 8～10ページ予定
 - (2)依頼日 令和2年1月中旬予定

- (3)依頼先 会長・茨城県体育協会・事務局長・日本スポー
ツ協会受賞者
支部だより・みんなの広場
 - (4)発行日 令和2年3月15日予定
 - (5)発行先 6支部会員・県外会員及び新規入会会員
 - (6)発行数 1,600部予定
- 3) 令和元年度全国スポーツ指導者連絡会議
 - ①令和元年度関東ブロックスポーツ指導者協議会総会
 - (1)期 日 令和2年3月21日(土)・午後1時～4時予定
 - (2)会 場 東京都五反田・東京都スポーツ指導者協議会品
川分室予定
 - (3)出席者 3名(照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大島
顧問)予定
 - ②令和元年度関東ブロックスポーツ指導者協議会研修懇親会
(宿泊)
 - (1)期 日 令和元年6月16日(日)～17日(月)
 - (2)会 場 千葉県千葉市・ホテルポートプラザちば
 - (3)参加者 若干名(照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大
島顧問他)予定
 - (4)幹事担当 千葉県スポーツ指導者協議会
 - ③令和元年度関東ブロックスポーツ指導者協議会役員会
 - (1)期 日 令和元年6月16日(日)・午後1時～4時予定
 - (2)会 場 千葉県千葉市・ホテルポートプラザちば会議室
 - (3)出席者 3名(照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大島
顧問)予定
 - ④令和元年度全国スポーツ指導者連絡会議全体会及び分科会
 - (1)期 日 令和元年12月6日(金)・午後1時30分～
5時予定
 - (2)会 場 東京都渋谷区・TKPガーデンシティ渋谷予定
 - (3)出席者 2名(照沼会長・鈴木副会長兼事務局長)予定
 - ⑤令和元年度公認スポーツ指導者全国研修会
 - (1)期 日 令和元年12月7日(土)・午後1時～5時
30分予定
 - (2)会 場 東京都品川区・TKPガーデンシティ品川予定
 - (3)出席者 若干名(参加希望者)
 - ⑥令和元年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者
表彰
 - (1)期 日 令和元年12月7日(土)・午後1時～5時
30分予定
 - (2)会 場 東京都品川区・TKPガーデンシティ品川予定
 - (3)受賞者 若干名(本協議会推薦者・県競技団体推薦者)
 - 4) 令和元年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者
表彰推薦者
 - ①県北支部・菱沼哲朗様
 - ②水戸支部・推薦なし
 - ③県南支部・推薦なし 阿久津しげ子様・須藤樹利様
 - ④鹿行支部・推薦なし
 - ⑤県西支部・推薦なし
 - ⑥県西支部・推薦なし
 - ⑦常任理事会・推薦3名 佐藤 仁様
 - ⑧事務局預り・阿部幸江様推薦見送り
 - 5) 平成31年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰推薦者(功労賞
・感謝状)
 - ①県北支部・八百 律様(功労賞)・米川 優様(功労賞)
 - ②水戸支部・推薦なし
 - ③中央支部・木村和美様(功労賞)
 - ④鹿行支部・推薦なし
 - ⑤県南支部・推薦なし
 - ⑥県西支部・推薦なし
 - 6) 平成31年度(令和元年度)本協議会各種会議等開催計画
 - ①総 会 平成31年4月21日(日)
会 場 水戸市・内原市民センター
二階多目的ルーム
 - ②常任理事会 3回計画/年『10月22日(火)・
1月25日(土)・3月20日(金)』予定
会 場 水戸市・内原市民センター
会議室2
 - ③理 事 会 2回計画/年『4月14日(日)・
2月24日(月)』予定
会 場 水戸市・内原市民センター
二階多目的ルーム
 - ④専門委員会
 - (1)総務委員会 2回計画/年『10月14日(月)・
1月25日(土)』予定
会 場 水戸市・内原市民センター
会議室2
 - (2)研修委員会 3回計画/年『5月16日(木)・
7月23日(火)・8月21日(水)』予定
会 場 水戸市・茨城県水戸生涯学習セン
ター分館二階会議室
 - (3)広報委員会 2回計画/年『7月15日(月)・
2月24日(月)』予定
会 場 水戸市・内原市民センター
会議室2
 - (4)事務局会議 3回計画/年『10月22日(火)・
1月25日(土)・2月24日(月)』予定
会 場 水戸市・内原市民センター
会議室2

支部だより

県北支部

支部長
梅村 恒雄

前回、今年度の総会についてご報告しましたので、その後の事業計画の進捗状況についてご報告します。

平成三十年度事業実績

六月四日 定例会

- ・支部総会の反省
- ・実技研修の総括
- ・支部広報誌対策

七月二日 定例会

- ・県理事会報告

八月六日 定例会

- ・関東ブロック協議会
- ・広報誌発行

九月三日 定例会

- ・支部研修会対策
- ・全県研修会報告

- ・支部役員研修会対策

- ・女性センター対策

三十日 支部役員研修会

十月一日 定例会

- ・県常任理事会報告
- ・地区研修会対策
- ・女性センター対策

十一月五日 定例会

- ・地区研修会対策
- ・女性センター報告

十二月三日 定例会

- ・地区研修会対策
- ・支部総会対策

一月二十一日 定例会

- ・地区研修会対策
- ・新年度事業計画審議
- ・女性センター対策

二月三日

- ・地区研修会開催
- ・定例会

以上が現在までに実施した事業です。

今回の地区研修会の会場を日立市十王総合健康福祉センター「ゆうゆう十王」に変え開催しました。茨城県体育協会の橋本事業課長、埼玉事、茨城県スポーツ指導者協議会から鈴木事務局長、青柳研修委員長、君和田広報委員長のご出席を賜り、県北地区研修会の運営について所感を頂きました。次回の開催に反映していきたくと考えております。

これからは、三月に支部広報誌を発行し、五月二十日に支部総会を予定しています。総会は、平成三十年度の反省と、三十一年度の事業計画について議論し、会員の皆様の活動の一助となるような計画を立て、支部役員一同精一杯頑張っております。

県北支部では役員としてご協力できる会員を募集しております。

で事務局長までご連絡いただければ幸甚に存じます。

会員の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

水戸支部

支部長
吉田 広光

第七十八号会報の記事の中に平成三十一年度総会の案内を支部会員百六十四名の会員の皆様に発送いたしました。総会は上中妻市民センターに於いて、五月十八日土曜日開催の案内を出したが、残念ながら返信数は百十通でした。その内総会の参加者は、十五名でした。

昨年度は救急救命講習会を開催し多くの参加がありました。本年度は支部長として責任を感じてます。

平成三十一年度総会に於いて、支部活動報告並びに決算報告を審議承認されました。又、新年度活動計画並びに収支予算案も承認されました。

さて水戸支部のこれからの事業活動として支部活動が低迷しておりますが、今後の研修活動も意識の共有と共に指導者としての意識向上のために、たくさんの方に研修に出席してほしいと思っております。

茨城県教育委員会主催で笠間市教育研修センターに於いて、七月

二十日と七月二十七日に研修会が開催されます。

一日目は、理論一。茨城大学日下裕弘名誉教授による生涯スポーツ指導員の任務と役割。

理論二。作新学院大学石川智講師によるスポーツ活動に関する経営と企画運営。

理論三。社会教育研究会長、長谷川幸介氏による地域におけるスポーツの役割。

理論四。筑波技術大学香田泰子教授による障害とスポーツ。

理論五。川村学園女子大学教授による中高齢者と子ども世代間の交流。

私は、この県教育委員会の研修を学び第八十号の支部だよりに取り組んでみたいと思っています。今後の支部活動にも少しでもお役立てができればと考えております。

最後になりますが、今後の活躍と活動を期待申し上げ支部の報告と致します。

又水戸支部役員の舛井幸子様が優秀指導者、体育功労賞を受賞され、県体育協会大井川和彦会長より表彰しました。これからの活躍に期待申し上げます。



県南支部

支部長

櫻井孝之

平成から令和へ時代は大きく舵を切り、指導者協議会の名称も変わるのでしょうか？本年は茨城国体、ラグビーワールドカップ開催

来年は東京オリパラとビッグイベントが続く中、指導者資格制度も大幅に改変されます。令和元年はスポーツ界に於いても「新しい時代の幕開けの年」になりそうです。

JSPPO及びJSPPO加盟団体等が育成する公認スポーツ指導とは、

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレイヤーズセンターの考えのもとに、暴力やハラスメント等あらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレイヤーの成長を支援する事を通して、豊かなスポーツ文化の創造や、スポーツの社会的価値を高めることに貢献できるものである。この制度は、平成三十一年四月一日から施行する。

今年度から「資格更新研修会」と名称変更となり、年四回の開催

になります。県南支部では来年度開催となりますので、資格更新の方は忘れずに受講して下さい。移行期に伴い各競技団体での資格移行講習会も開催される場合もあるかもしれません。注意して情報を確認してください。「県南便り」

2号に資格の種類・役割等の抜粋を掲載しております。スポーツ少年団のスタートコーチ資格への移行に伴い、今年度中の養成講習会にて資格を取得し登録した方が、資格移行や受講費用でも有利になる場合も考えられます。

「県南便り」では、今後も研修会の講義情報や、コーチング等の情報共有を図りたいと思います。又会員の皆様の活動情報等も掲載出来たらと考えておりますので、支部長宛に情報を是非お寄せ下さい。

県西支部

事務局長

近藤康雄

県西支部、平成三十一年度支部総会を今年度、初めて古河市中央運動公園はなもも体育館会議室で令和元年五月十九日(日)午前十時より開催いたしました。当初、隔年で行っている「普通救命講習会」を予定していましたが依頼していた消防署関係の行事が重なり中止としました。今年の九月か十月には開催したいと考えております。

さて、支部総会は県西支部会員百七十五名対し、出席者十三名、欠席委任状百二十三名、未連絡三十九名で無事成立いたしました。平成三十一年度の支部活動報告、決算、令和元年度の支部事業計画、

同支部予算を審議し、承認されました。又、支部役員の改選期でもあり、支部案を発表・報告し、承認を頂きました。その他の中で昨年支部大会の中で話がありました。連絡先の情報については、県西支部内のある組織から県体協に情報を依頼したところ、「個人情報なので出せない」との返事があり「おかしな話だ」との事。「組織が任意団体であり勝手に出すと個人情報漏洩に当たる」そうです。指導者の自己研鑽の場を持つ、指導者育成にも役に立つとの事ですが

今後もねばり強く県体協、スポーツ協会に依頼して行く話をされています。又、各地区の体育協会とスポーツ指導者協議会の関係、位置づけについても話をしました。地区により対応がまちまちでしたが、地区により対応がまちまちでした。県協議会でも話をする機会を持ちたいものです。今年度の支部事業計画に義務研修を令和元年十一月十日(日)に下妻市千代川公民館で開催する事を載せてあります。県西支部が主管支部として

一昨年に続けて二回目ですが開催時には下妻市の会員の方、又、近隣地区の会員の方々の協力を宜しくお願い致します。最後にこの会報をご覧になり、ご意見ご要望がありましたら

〒306-0052

古河市大山 1543-13
茨スポ指導協

県西支部事務局 近藤康雄
TEL・FAX
0280-48-1911

まで連絡をお願い致します。

第七四回、国民体育大会
いきいき茨城ゆめ国体

第十九回全国障害者スポーツ大会
頑張りましょう！！

中央支部

事務局長

野々村律子

中央支部恒例の支部研修会が、七月二十日(土)ひたちなか市笠松運動公園、陸上会議室に於いて開催されました。四月の支部総会時の申し込みでしたので、期日までのキャンセルが相継ぎました。参加者にとり有意義な時間だったと思います。

講演トレーニングの科学では、藤枝昇氏による握力のトレーニングの題材で、人骨手と足の模型を使い手の握力、足の握力のトレーニングについて、ユーモアを混じった講義を受ける事が出来ました。終了後は参加者の方々から各々切実な質問に具体的に納得出来る答えが頂け、彼らは嬉しかったと思います。側で見守る私達も至福のひとつでした。

講演会では照沼一美会長による、人間力の向上と題しワークショップ型式による五つのグループに分けての方法でした。当初不慣れというのか経験不足による戸惑いが、感じられました。時と共に真剣というか熱を帯びて行く様子が伺えました。刻が過ぎ各グループ代表による発表へと進みます。各グループに配布した模造紙に五色のポストイットが遠くからも美しく見え、その後講師による講話で締めくくられました。皆さんにとって良い経験が出来た時間かとも思いました。

開会式に中央支部事務局より二つの報告を致しました。一つ目は日本スポーツ協会より指導員の必須項目に救命知識の必至が通知されました事。二つ目は支部研修会の研究協議の時間枠を、自分の知識を皆さんに！”として研修会参加者仲間から集り、自分の持っている知識を発表して頂く事に致しました。この時間を共有する事で何かをお互いが得る物があるに違いないと思います。

今年度の研究協議の担当は、ダンススポーツひたちなか市の永井清さんをお願い致しました。消防署の副署長を退官した方でそこで培ったロープの取り扱い、二重つなぎを教わりました。八m、一六五cmのプラロープでほどけない結び

方です。ブルーシートに利用する事で災害時とか野外活動で中広い用途に繋げられるとの事です。たとえばバスタオル片方の二か所の端を二重つなぎで結び首にかけバスタオルで人を乗せて移動可能な力があるそうです。これからのいつの日にか役立つ何かを学び合いたいものだと思います。

鹿行支部

副支部長
君和田 毅

例年支部活動は、支部役員会を開き、研修内容や支部の課題等の解決に向けた協議を行って来ます。年一回、支部だよりを発行して、支部研修会(二年に一度は、更新研修会)を実施しています。鹿行支部の会員数は、平成三十一年三月末現在で、九十六名です。本協議会の課題は、市町村単位では、協議会の組織がないため、どのような資格を持った人がいるのか分からないのが現状ではないでしょうか？鹿行支部の場合は、役員に各市町村のスポーツ行政担当者が一名ずつ入っており、情報交換や合同研修会等を実施していますが、まだまだ組織として活用が図れていません。鹿行支部の課題は、新しく役員になる人がいないことです。支部の研修会を実施しても参加者は少なく、支部の意義を伝えることが出来ません。原

因の一つとしては、会員でない人に広報紙を配布していないので、本協議会の活動を知らせることが出来ないことや役員になると負担感があり、新たな役員になる人がいません。この現状が続けば、支部の解体もそう遠い話ではないと思います。解決策としては、これまで何回か提案をしていますが、全員が協議会に入会するのがベストだと思えます。そのためには、有資格者全員を会員として登録してもらおうシステムなどへの変更はいかがでしょうか？すると、役員の選出にも幅が広がると思います。

今年度の更新研修会は、令和二年一月二十六日(日)に、行方市北浦公民館に於いて開催されます。たくさんの方のご参加をお待ちしております。最後に会員の皆様には、要望や問題提起をお願いし、益々、本協議会がより良くなりますようご祈念申し上げます。



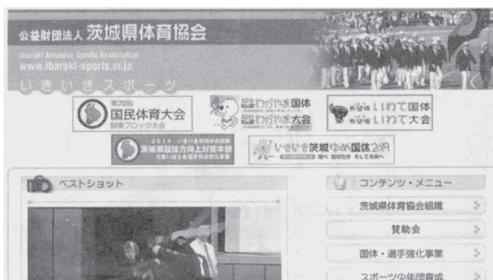
お知らせ

住所変更及び改姓した場合必ず変更届を連絡して下さい。

【連絡先】 ☎ 306-0204
茨城県スポーツ指導者協議会
事務局 古河市下大野 1463-4
事務局長 鈴木 義夫

TEL 0280-92-4555
FAX 0280-92-4555

ホームページ開設



<http://www.ibaraki-sports.or.jp/>



平成三十一年～令和二年度
本協議会役員名簿

顧問	広報副委員長	広報委員長	研修副委員長	研修委員長	総務副委員長	総務委員長	会計	会務	庶務	事務次長	事務局長	副理事長	副理事長	理事長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長				
大畠宗夫	高野照代	君和田治也	渡辺吉光	青柳薫光	和田弘行	渡辺早苗	高野照代	島田良子	関根あさ子	風間富江	高野照代	鈴木木義夫	鈴木木孝子	近藤康雄	鈴木木義夫	梅村恒雄	吉田広光	青柳薫光	櫻井孝之	鈴木木義夫	島田昌和	照沼一美			
県理事	県理事	鹿行支部長	県理事	県理事	県理事	県理事	中央支部長	県理事	県理事	県理事	県理事	県理事	水戸支部長	県理事	県理事	県理事	県理事	県理事	県理事	県北支部長	監事	監事	顧問(県体協)	顧問(県体協)	顧問(県体協)
君和田治也	君和田毅	島田昌和	木村邦子	柏葉光子	野々村律子	小堀英樹	高村卓雄	照沼一美	笹本弘	舛井幸子	岡野秀一	古杉進	青柳薫光	吉田広光	綿引健	柴田美知代	鈴木木孝子	菱沼哲朗	小澤一友	梅村恒雄	佐藤仁	山中寛	越川恵理	橋本晃輝	加藤敏弘
ゲートボール	剣道	ソフトテニス	陸上競技	山岳	卓球	スキー	空手道	テニス	弓道	ソフトボール	バスケットボール	バレーボール	水泳	県理事	県理事	県理事	県理事	県理事	県理事	県西支部長	県理事	県理事	県理事	県理事	県理事
渡辺早苗	梅村恒雄	額賀富雄	柏崎勝美	菅谷政宏	綱川正	糸川明子	武石良男	沼尻満男	川瀬政人	青柳薫光	西野博文	渡邊修士	鈴木誠	吉沢匡美	角谷俊二	大竹幹夫	島田良子	近藤康雄	鈴木木義夫	鈴木木義夫	渡辺吉光	風間富江	遠藤守	櫻井孝之	高野照代

編集後記

第七十九号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読いただけるとなるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

次回の会報八十号発行は
令和二年三月(予定)

広報委員会

- 広報委員長 君和田 治也
- 広報副委員長 高野 照代(鹿行支部)
- 広報委員 佐藤 マツ(県北支部)
- 櫻井 孝之(県南支部)
- 大竹 幹夫(県西支部)
- 関根あさ子(事務局・庶務)
- 鈴木 義夫(事務局長)